



石蔵に息づく南郷刺し子の美
「レトロな石蔵と南郷刺し子」

歴史ある石蔵が、南郷刺し子の美しさをより一層引き立てました。

伝統工芸「南郷刺し子」の魅力をもっと知ってもらいたいという思いから、歴史的建築物の石蔵で作品展を開催しました。

石蔵には、一針一針丁寧に仕上げられた作品が並んだほか、今回は特別に南郷刺し子会の指導のもと、刺し子体験も実施。来場者が手仕事の温もりと奥深さに触れる貴重な機会となりました。

歴史ある建物と受け継がれてきた文化が響き合う、この町ならではの時間が流れました。

◀石蔵と展示された南郷刺し子半纏



▲思い思いに楽しむ来場者

心地よい香りと
静かな夜のひととき
「香りと星のGOOD NIGHT」

初夏のやわらかな夜風を感じながら、香りに癒される穏やかな時間が流れました。

会場となったのは、旧針生小学校のグラウンド。アロマスプレーやジェリーフレグランスづくりなどのワークショップを開催。多くの方にご参加いただき、香りに包まれた会場は終始にぎわいを見せました。

また、会場内ではフードの販売も行われ、食事や飲み物を片手にゆったりと語ったり、思い思いの時間を楽しむ来場者の姿が見られました。



▲52年ぶりに特別運用されたS L大樹「土津(はにつ)」

桜、石蔵、星空、そしてS L。
この春、南会津町のいつもの風景が、たくさんの方々の笑顔で彩られました。

4月から6月まで開催された「ふくしまステイネーションキヤンペーン（ふくしまDC）」は、JRグループと県、市町村、観光事業者などが一体となり、地域の魅力を全国へ発信する観光キャンペーンです。

毎年桜が咲く公園。昔から変わらず佇む石蔵。澄み渡る夜空。そして、人々が行き交う駅前。いつもの風景に少しだけ新しい楽しみ方を添えることで、人が集い、笑顔が生まれ、この町の魅力が改めて輝きました。

この春、南会津町を包んだ「しあわせの風」を振り返ります。



▲にぎわうイートインスペースの様子

残念ながら星空は雲に隠れてしまいました。訪れた人たちの心に残る夜となりました。



▲会津高原尾瀬口駅でお出迎え

汽笛が結んだ、しあわせの風
「花嫁が導く祇園の里列車」

一本の汽笛が、町を訪れた人と迎える人、みんなの笑顔をつないでくれました。

ふくしまDCの締めくくりを飾ったのは、S L大樹「土津」の特別運行です。52年ぶりに会津線を走る姿を一目見ようと、町内外から多くの来場者でにぎわいました。

黒い車体がゆっくりとホームへ姿を現すと、あちらこちらから歓声が上がります。沿線では地域の人たちが列車に向かって手を振



▲ライトアップされた会場

桜の下は
笑顔のピクニック会場
「OHANAMI PICNIC」

春風に包まれた公園が、特別なピクニック会場になりました。

花見スポットとして親しまれているびわのかげ運動公園に、今年はキッチンカーとオシャレなイートインスペースが登場。普段は子どもたちが遊ぶ公園が、家族や友人とゆったり過ごせる憩いの空間へと変わりました。

子どもたちは芝生を元気いっぱい駆け回り、大人は桜を眺めながら食事やお酒を楽しみます。日が暮れると桜はライトアップされ、昼間とは違う幻想的な景色が広がりました。

見慣れた公園が、世代を超えて人が集い、笑顔があふれる「みんなの居場所」となったイベントでした。

り、車内の乗客も笑顔で応えました。

駅前ではマルシェをはじめ、太鼓やしゃんぎり演奏など様々な催しが行われ、見る人を惹きつけました。

見慣れた駅に響いた汽笛は、この町に「しあわせの風」を運び、多くの人の心に残るフィナーレとなりました。

アフターDC開催決定
この春の挑戦は、来年へつなごります。

令和9年（4～6月）、「アフターDC」の開催が決定しました。

今回の取組をさらに磨き上げ、南会津町ならではの魅力を、もっと多くの皆さんに楽しんでもいただけるイベントを準備しています。

来年も、南会津町に吹く「しあわせの風」に、ご期待ください。

